

地域材の活用に向けた人材育成研修会(第3回)について

1. 開催日時 平成24年2月7日(火) 午後6時～午後8時
2. 開催場所 昭和丹頂分団(昭和中央6丁目33番)、釧路工業技術センター 2F会議室
3. 参加人数 25名
4. 研修会の概要
 - ・ 地域材の活用に向けた人材育成研修会の第3回目。
 - ・ 新たに建設された市の木造施設「昭和丹頂分団」で(地独)北海道立総合研究機構北方建築総合研究所(北総研)廣田主査により、タッピングマシン及びゴムボールを用いて、軽量床衝撃音と重量床衝撃音の実演が行われた。
 - ・ その後、会場を工業技術センターに移し、廣田主査により「木造戸建住宅の遮音性能を向上するための基礎知識」と題した講演が行われた。講演では、音の基礎知識、測定・評価方法、木造住宅の遮音、公営住宅の性能、木質防音フローリング、北総研の進める重点研究(乾式2重床)などの説明があった。
5. 意見交換
 - ・ 乾式2重床のコスト、性能等メーカー仕様の比較。
 - ・ 試験研究で進めている乾式2重床について、重いものを一部に偏った置き方をしたときの安定性について(対応できる仕様で進めている)。
 - ・ 天井と2階床の間へ吸音材グラスウールを入れる場合の配置。
 - ・ 公営住宅がコスト面から2F建てになった時の防音効果の高い施工方法についての意見交換。
 - ・ コンクリート床とした場合、効果的なスラブ厚(150mm)についての説明。



<試験機の説明>



<上階の音を下階で体験>



<講師の廣田氏>



<研修会の様子>